



# 翁島小学校だより

第11号 H30. 9. 6 発行

文責：校長 星 善樹

## ◎ 校内水泳記録会、ご声援ありがとうございました。

8月30日(木)、1,2年生は水遊び、3～6年生は水泳学習のまとめとして、「校内水泳記録会」を実施しました。夏休み明けは天候が不順で、練習の時間が十分とれないのではないかと心配しましたが、それでも雨の間隙をぬって練習を行い、この日に備えました。

水泳記録会当日の朝も、小雨が降るなどはっきりしない天気でしたが、急な雨に備えて TENT を張るなどして記録会を実施することにしました。こうした願いが天に通じたのか、高学年の水泳記録会が始まる午前8時30分頃には、太陽が顔を出し、気温も上昇、最高の環境で記録会を実施することができました。

今年の夏は猛暑で、子ども達はプールでの学習をたっぷり行いました。それだけでなく、一人一人がしっかり目標を持って取り組んだことで力を伸ばすことができました。校内水泳記録会当日は、お家の方々の声援を受け、培った力を十分に発揮できたのではないかと思います。



水遊び、水泳の学習は泳力を伸ばし、体力・

運動能力を向上させるだけでなく、心を育てるという点においても効果があったのではないかと思います。それは、目標に向かってその気になって努力すれば、目標は達成できるという成功体験です。なかなか25m泳げずに、何度泳いでもプールの中央まで来ると足をついてしまう、そんな子が、絶対泳ぐんだという強い心をもって練習を根気強く行い、とうとう泳ぎ切った時のうれしそうな顔、25mを泳ぎ切った後「とても自分が泳げるとは思わなかったけど、バタ足を頑張ら続けたら泳ぐことができた。」と嬉しそうに話してくれた子など、水泳の学習を通して目標に向かって根気強く努力する大切さを学んだ子は多いと思います。また、一生けん命練習する友達を応援したり、友達の頑張りをみて「自分も・・・」と本気になって練習に取り組んだりする姿もたくさん見ることができました。

今年の水泳記録会は、子ども達の頑張りとたくさんのお家の方々の声援で大いに盛り上がりました。来年の校内水泳記録会もとても楽しみです。

## ◎ 猪苗代湖の水質向上に向けて・・・。

### ～ アサザの移植、ヒシ回収 ～

アサザもヒシも植物であり、日中は太陽の光で光合成を行い、水中に酸素を出す、環境にとって良い働きをします。それでは、なぜ、アサザは移植し、ヒシは回収するのでしょうか。その理由は、それぞれの植物の特徴にあります。アサザもヒシも湖の有機物を栄養として成長します。アサザは、葉が柔らかく、鳥などの食料となります。アサザを食べた鳥は、陸でフンをします。この一連の流れで、水質悪化の原因である有機物を湖から排出することになります。

一方ヒシにはトゲがあり、鳥などの餌になりません。せっかく有機物を吸って成長しても、湖の外に排出されることはなく、やがて腐ってヘドロ化し湖の有機物を増加させるという結果になります。さらにその有機物を栄養にして、ヒシはどんどん増えていくというわけです。子ども達が、長年継続しているアサザ移植やヒシ回収は、水質向上のため重要な仕事なのです。

#### ○ アサザの移植

8月29日(水)6年生6名は、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見様のご指導の下、昨年度の6年生が種を植えて育ててきたアサザの苗を猪苗代湖に植えてきました。湖底にシャベルで穴を掘り、苗が流れないようにまとめて移



花の命は半日、アサザの花

植しました。水の中を手探りで行う作業だったのでなかなか大変でしたが、用意した苗は全て植えることができました。作業の後は、猪苗代湖の植物について話を聞いたり、みんなで湖水浴をしたりしました。最後に、鬼多見様からご褒美のスイカもいただき、楽しい時間を過ごしました。



アサザを移植する6年生

#### ○ ヒシの回収(TV放映されました)

9月3日(月)総合的な学習の時間に、3～6年生が、ヒシ回収を行ってきました。ヒシという植物は、腐るとヘドロ化して湖の水質を悪化させます。

子ども達は、胴長をはいて湖に入り、ヒシを抜いてコンテナに入れ、湖から運び出しました。泥だらけになりながら一生懸命作業をした結果、約1.5トンの



一生懸命、ヒシ回収を行いました



ご褒美に甘いスイカをいただきました

ヒシを回収することができました。御指導いただいた「猪苗代湖の自然を守る会」の方々や保護者の方々の話によると、過去最高の量ではないかということでした。

とてもよく頑張ったと言うことで、鬼多見様より大きくて、とても甘いスイカをいただきました。汗を流した後のスイカは最高でした。ご馳走様でした。